

# 民生福祉常任委員会視察報告

参加委員：吉永美子委員長、 山田伸幸副委員長、 大井淳一郎委員、  
杉本保喜委員、 恒松恵子委員、 松尾数則委員、 矢田松夫委員

視察日：平成30年11月8日

視察先：大分県臼杵市

視察内容：健康マイレージ事業

報告事項：

## 1 視察先の状況

### ・事業の目的

臼杵市の健康マイレージ事業は、市民の健康づくりを応援し、健康寿命を延ばすことを目的として取り組んでいる。

### ・高齢化と人口減少

高齢化率(65才以上人口比率)が約40%で、加えて人口減少が進行している。高齢化率40%時代の地域づくり、人口減少への歯止めをどのようにしていくかを直面する課題として捉えている。

### ・有病率が高位

市民の有病率が県内でも高位で推移していることから、生活習慣病を予防し、市民の健康寿命を延ばしていくための取り組みとして、健康マイレージ事業が取り組まれ始めた。

### ・未受診者対策

健康寿命を延ばし、特定健診の受診者を増やしていくために次のような対策を進めている。

① 特定健診の無料化(自己負担を500円から0円に)

② 受診者への受診勧奨ハガキ送付

③ 電話作戦

④ 保健師の訪問声かけ

⑤ 地区ごとのチラシ配布

⑥ 健康マイレージの取り組み

### ・健康マイレージの仕組み

① 健診を受けると50ポイント

② 健康づくりイベントに参加すると10ポイント

③ 100ポイント貯まると3000円の商品券と交換

④ グループの場合は15,000円の商品券と交換

### ・課題

事業が始まったばかりで、広まったとは言えず、広く市民への浸透が課題。

そのための取組として広報戦略の練り直し、庁内連携、国保加入者へのアプロー

チ、医師会開業医や企業との連携、協力・理解して貰える小売商店への浸透などがある。

## 2 考察

山陽小野田市では県のマイレージ制度しかなく、市民へ浸透もしていない。

健康づくりに役立つ市独自のマイレージ制度が必要であり、臼杵市の取り組みは参考になるものである。